

土俵祭 (1944)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 78分

初公開日 1944/03/30

公開情報 大映

【解説】

相撲小説で有名な鈴木彦次郎の原作を「姿三四郎」の黒澤明が脚色し「鳥人」の丸根賛太郎が監督したスポ根映画。相撲を愛し横綱を目指す力士を、片岡千恵蔵が演じて話題となった。撮影は「無法松の一生」の宮川一夫が担当。

「相撲は時代遅れだ」と風当たりが強くなっていた明治初年。竜吉は憧れの相撲取りになるべく大綱関に弟子入りし「富士ノ山」というしこ名をつけられる。だが荷物運びと先輩によるいじめに終始する毎日を送っていた。富士ノ山と親方の娘きよはお互いに想いを寄せるようになるのだが…。

【クレジット】

監督 丸根賛太郎

製作 浅野辰雄

原作 鈴木彦次郎

脚本 黒澤明 Akira Kurosawa

撮影 宮川一夫

美術 角井平吉

川村鬼世志

音楽 西悟郎

助監督 宮川孝至

出演 片岡千恵蔵 富士ノ山

市川春代 きよ

羅門光三郎 玉ヶ崎

山口勇 大綱

原健作